

《参加者募集》

公開委員会『DX活用のススメ～Motivation Transfer～』

(11月10日(金)午後開催：製造技術部門委員会)

近年、製造業ではシミュレーション、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット化)などのデジタル技術を活用した生産効率や品質管理の向上が推進されています。製造技術部門の公開委員会では自動車および周辺産業から講師をお招きし、最近のDXの活用事例をご紹介します。また、アフターコロナにおける製造プロセスのあり方を皆さんとともに考えていきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

自動車技術会 製造技術部門委員会 委員長 松村 隆

開催日時	2023年11月10日(金)13:05~16:40
会場	オンライン<お申込みいただいた方に、後日、アクセス情報をお送りします>
主催	自動車技術会 製造技術部門委員会
申込締切	2023年11月8日(水)
申込先	https://tech.jsae.or.jp/opencom/Entry.aspx?id=0115
参加費	無料
問合せ	技術交流事業課 小山 e-mail:tech@jsae.or.jp

プログラム

13:05~13:15 開会挨拶	製造技術部門委員長 東京電機大学 松村 隆 氏
13:15~14:00 講演1	『部品剛性を考慮した公差解析展開による樹脂部品開発の革新と効率化』 マツダ株式会社 井上 実 氏 自動車の樹脂内外装装備部品の開発において、見映え・隙・干渉などの品質・性能確保は、従来から実部品による物合わせ・調整による右バンクの育成開発となっていた。これを打破・改革するためには、樹脂部品自体の形状精度向上(主には製造技術)とばらつき・公差の適正化(設計技術)が必要となる。この設計技術として部品剛性を考慮できる公差解析技術を導入し、設計から生産までを連携して活動できるように活動中である。
14:00~14:45 講演2	『旭鉄工のDXと儲かるカーボンニュートラル』 旭鉄工株式会社 木村 哲也 氏 トヨタ自動車のティア1である旭鉄工は自社開発IoT「iXacs」を起点としたDXで10億円の利益を上乗せしながら26%の電力消費量を削減する「儲かるカーボンニュートラル」を実現しました。そのための「問題を見える化するIoT」、カイゼンノウハウの蓄積と共有を支える「横展アイテムリスト」と「カイゼンの上位概念」およびChatGPTを活用した「カイゼンGAI」、そして「風土改革」についてお話しします。
14:45~15:00 休憩	

<p>15:00～15:45 講演3</p>	<p>『加工工場の工程集約・自動化・GXを支えるDX』 DMG森精機株式会社 ブルーメンシュテンゲル 健太郎 氏</p> <p>工作機械を中心として、お客様の製造環境・製造能力を高効率・高精度化するソリューションプロバイダとして、工程集約・自動化によるGX化への貢献、そして一連の工程をDX化する仕組みをマシニング革命(MX)と位置付け、工程・生産計画から製造・生産管理まで様々なアプリケーションを開発・提供しております。今回はその一部を導入実例のご紹介とともにお話しさせていただきます。</p>
<p>15:45～16:30 講演4</p>	<p>『試作前に品質追及や手戻りレスを実現する、DX時代に求められる組立現象のMBD化』 株式会社ファソテック 一ノ瀬 淳 氏</p> <p>「DXを活用し、利益確保だけでなくカーボンニュートラルや、各部門の意識改革を実現できますか？」という事は今多くの経営者の経営課題である。 試作回数のさらなる大幅削減による、金型費の大幅削減・試作治具削減等々、手戻り原価の削減。ダントツ品質を実現し、市場問題をさらに一桁減らし、デザイン意図を阻害する隙段差の無い、世界に勝てるデザインを実現する方法論を事例交えて情報共有したい。</p>
<p>16:30～16:35 閉会挨拶</p>	<p>製造技術部門委員長 東京電機大学 松村 隆 氏</p>